

目指すべき技術職員像

【趣旨】 信州大学(以下「本学」という。)職員は、本学の理念・目標の実現に向け、それぞれが大学運営の中で委ねられた**自己の職分を主体的かつ積極的に実現する**とともに、大学運営**組織の創造的な一員として活躍すること**が求められる。

このため、学長をはじめとする意志決定システムをサポートし実行する能力を有する人材を養成するため、職員個々の意志と意欲を尊重し、職員個々に応じた能力向上のための人材育成の基本方針のもとに、体系的かつ効果的に職員の育成を行うこととする。ここに、本学教育研究系技術職員（以下「技術職員」という。）に関する人材育成基本方針を制定し、**高い能力を育成された技術職員が、教員、事務系職員とともに大学運営の中核となり、大学の理念・目標の実現に務める**とともに、**職場における技術職員自身の自己実現を図る**こと、また、令和4年4月より、これまで各学部・センターに分かれて所属していた技術職員を統合技術院という一つの組織に所属させたことを受け、**全学統一的な高度技術職員の育成、キャリア形成及び持続可能な技術の伝承を図るとともに、技術職員間における情報共有及び人的ネットワークの構築を図り、**もって、本学の教育研究活動の効率的な推進に資することを目指すものとする。

1. 目指すべき技術職員像

本学は、社会の変化とともに進化し続ける信州大学を支える技術職員として、**幅広い知識やスキルを積極的に身につけ、それらを駆使して活動する意欲のある人材の育成**を目指す。具体的には、次に掲げる技術職員像を理想とし、人材育成の目標とする。

- (1) 高度な専門性を有し、本学の教育、研究、産学官連携、国際連携及び地域連携を支えていく力を備えている技術職員
- (2) 課題を見出し、その課題への対応方策を企画・立案・実行できる力を備えている技術職員
- (3) 教員、事務系職員及び学生と協働し、大学運営に参画する力を備えている技術職員
- (4) 的確に情報を収集し、理解、分析し、発信する力を備えている技術職員
- (5) 知的好奇心に富み、幅広い知識やスキルを積極的に身につける意欲と向上心を持ち、さらに後進の育成に熱意を持っている技術職員
- (6) 協調性を持ち、他者と協力的な関係を築くことができる技術職員

人材育成の基本ポリシー

本学は、技術職員の人材育成にあたり、次の事項を基本ポリシーとして、実施する。

- (1) 本学の理念・目標を実現するために、**技術職員の人材育成に積極的に取り組む。**
- (2) 本学の重要な人的資産である**技術職員個々の意志と意欲を尊重し、職務上必要となる能力の育成**を行うとともに、**自己啓発による能力開発への必要な配慮・支援**を行い、社会に通用する人材の育成を図る。
- (3) 人材育成を、計画的、体系的にかつ効果的に実施するとともに、**各分野間で必要となる能力形成のバランスをとる**ように十分配慮して行う。
- (4) 人材育成を、**本学以外の大学、行政機関、団体や企業等とも連携**して行い、社会においても必要とされる能力を発揮できる人材を養成することを目指す。
- (5) 本基本方針により目指すべき技術職員像と人材育成制度の全体像を示すとともに、本学能力・行動評価制度等による能力等の評価を踏まえ、**職員個々が自身のキャリアプランを作成**できるようにする。
- (6) 人材育成を、**各種研修、自己啓発、能力資格制度、能力・行動評価等の各種の人事制度及び能力開発方法を有機的に活用し総合的に行う。**
- (7) 選考採用等の**外部人材登用**による技術職員についても、採用以前の経験を考慮した**キャリアプランを確立**し、人材育成を進める。
- (8) 人材育成を効果的に推進するために、**技術・知識等を伝達する育成指導システムを確立**する。

3. その他

人材育成に関する具体的な諸制度（キャリアプラン、研修制度等）については、統合技術院運営会議において、検討を行っていくものとする。